

あなたの暮らしに、新しい風

Fun

FUKUYA LIFESTYLE MAGAZINE

TAKE
FREE

vol.11

人生を楽しむ暮らし

アウトドアも、インドアも。住まいをもっと楽しもう。



家族の時間をもっと楽しむ、 おうちアウトドア。

暮らしの幅が広がる土間空間

濱田さん一家にとって玄関とひと続きになった広い土間空間は、アウトドア用品の収納ではなくひとつの居場所。家族みんなでおうちピクニックを楽しんだり、子どもたちの遊び場になったり、さらにはご主人がひとりの時間を楽しむ書斎にもなっているという。



ラフな素材感がかっこいい合板の造作収納にはアウトドア用品のほかにレコードや楽器、絵画など“好きなもの”が壁一面に詰まっている。

「特に夜に音楽を聴きながら、ここでお酒を飲む時間が気に入っています。」と話してくれたご主人。リビングと隣り合う場

所でありながら扉一枚閉めれば音漏れもほとんどなく、反響も心地よい土間空間は、リラックスタイムにもぴったりなのだとか。

キッチンから、家族を見守る

奥さまのお気に入りの居場所は、キッチン。家中どこにいくにも動線がよく、コンパクトな24坪の平屋の住まいの核となる場所だ。おしゃれなタイル張りのキッチンは存在感があり、アウトドア食器もアクティブに使われている様子から、濱田さん一家の“らしさ”が感じられる。解放感のあるオープンなキッチンは家族のコミュニケーションも生まれやすく、ダイニングテーブルは長女の定位置に。



以前の住まいと比べ長女に目が届くようになったそうで、本人もニコニコ笑顔の時間が増えたという。

また、沢山椅子を並べられるこのダイニングテーブルは来客時にも大活躍。自然とひとが集うオープンなキッチンは暮らしの楽しさを広げてくれている。

どんな状況でも遊び心を忘れない

キャンプや川遊びなど、アウトドアに親しむ濱田さん一家は、ふだんから気軽におうちアウトドアを楽しんでいるという。この日も午後のおやつに、お庭でホットサンド作り。



車いすの長女もバギーでお庭にでて、家族みんなで熱々のホットサンドを頬張る光景はまるでキャンプ場でのひとコマのよう。元気に走り回る次男からは「アイスが食べた〜い!」という声も。そんなリクエストにもさっと答えられるのは、おうちアウトドアだからこそ。「近頃は、長女の歩行が難しくなったことや三男の誕生もあり更に外出のハードルが上がりましたが、おうちで過ごすことが楽しいので無理して外に出掛けることがなくなりました。」と明るく話してくれた奥さま。家での時間を楽しめる土間やデッキのある暮らしは、どんな状況でも、遊び心を忘れない濱田さん一家のスタイルにしっかりと馴染んでいる。



濱田様邸

家族構成: 家族5人
竣工年: 2021年8月
構造: 木造平屋建て
延べ床面積: 24.96坪

1. お庭をプライベートな空間として楽しめるように、外構には通りからの視線を遮る2mほどの木塀を設けている。2. 土間の造作収納は、約3mのゴムボートがびったりと納まるサイズ感で、リビングにもちらりと覗かせることで、インテリアのアクセントになっている。3. リビングのウッドブラインドは、光や風、視線に合わせて室内からの見えかたを細かく調整することができる。

デザインと間取り No.8 心地よ い間取り

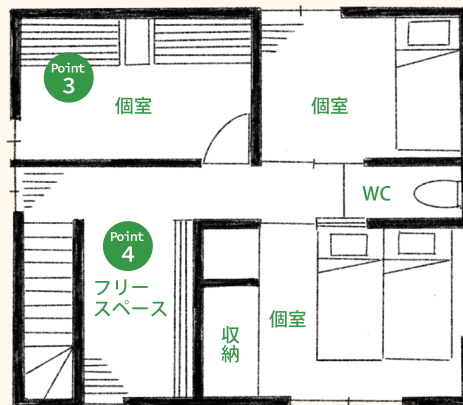
テーマ

ひとりも、ふたりも。趣味を思いきり楽しむ、夫婦ふたりの暮らし。

「不確実な将来の子供や来客のことより、今の僕たちふたりにとって最高の家を建てたい！という想いが強くありました。」と話してくれたご主人。ご夫婦共通の趣味であるゲームを思いきり楽しむための“ゲーム部屋”を中心に、家での時間を楽しく工夫が沢山詰まったこだわりの新居におじゃまさせていただきました。



2F



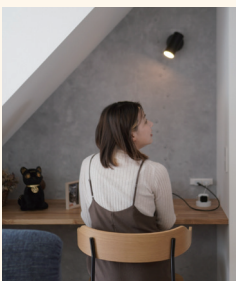
Point 3



こだわり尽くした大人のゲーム部屋

家づくりの核となったゲーム部屋。造作のパソコンデスクは高さや幅、天板裏の配線隠しなど、細かいところまでこだわり理想を叶えた。偶然にも設計担当の森もゲーム好きだったため、スムーズに希望が伝わったという。

Point 1



こころ落ち着くわたしの居場所

猫の足跡の壁紙がアクセントの階段下デスクスペースは、奥さま専用。リビングにありながら、不思議と包み込まれるようなおこもり感があり、こころ落ち着く居場所になっているという。家事の合間に日記や家計簿をつけるなど、何かと便利に活用しているのだとか。

コンパクトでおしゃれなカウンターダイニング

キッチンと繋がるカウンターダイニングは、作るひととの距離も近く、配膳など家事の負担も少なくなり「夕食の時間が楽しくなった！」と話してくれたおふたり。家庭菜園にも挑戦中で、香川出身の奥さまの得意料理“しっぽくうどん”に使うべく、小ネギを育てている。

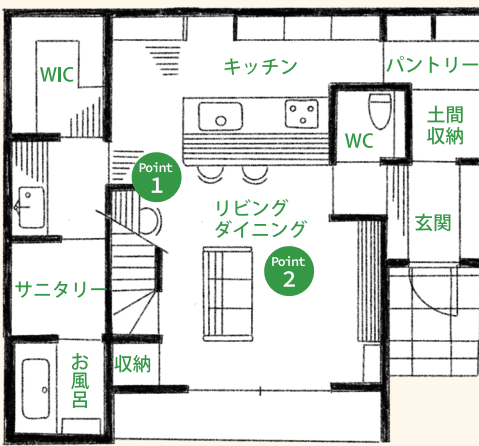


Point 2



間取り図

1F



Point 4



好きなものを見渡せるしあわせ

リースペースには壁一面に棚が設けられており、お気に入りの雑貨やボードゲームがセンス良くディスプレイされている。いずれは、ゆっくりとディスプレイを眺められるように、棚の前に椅子を置きたいと考えているという。

おすすめボードゲーム

インテリア性もあり、ふたりで楽しめるボードゲーム「コリドール (Quoridor)」



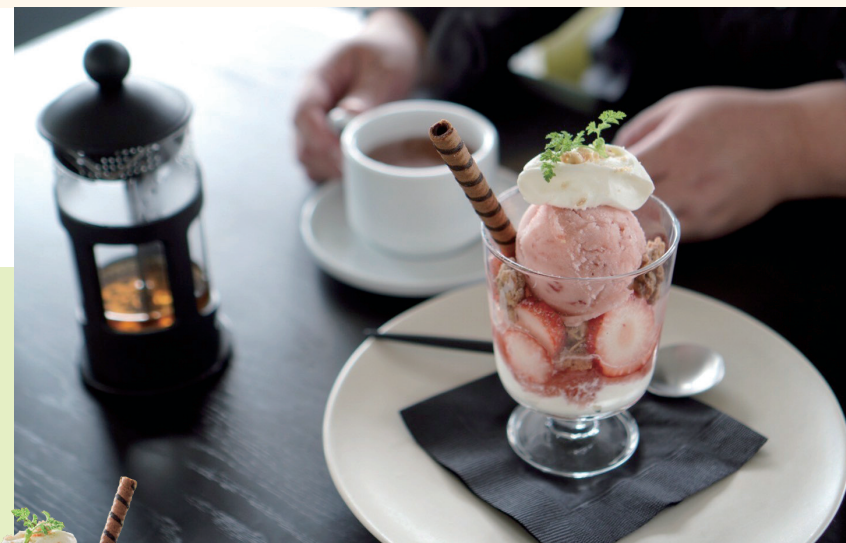
高橋様邸 家族構成 | ご家族2人 / 施工年 | 2024年12月
延床面積 | 29.30坪 / 構造 | 木造二階建て

ヌックのある平屋

家族構成 | ご家族4人 / 竣工年 | 2018年4月
延べ床面積 | 32.31坪 / 構造 | 木造平屋建て



季節のフルーツパフェ
始めました！



生クリーム
莓アイス
グラノーラ
バナナアイス
莓ゼリー
パンナコッタ
クレープクッキー

旬のフルーツと、触感を楽しむ大人パフェ。

CAFE FLAGにてmelba上園さんの監修する季節のフルーツパフェ(900円)の提供が始まりました。4月は、今が旬の莓パフェ。キュートな見た目に、ざくざく、ぶるんと触感も楽しく、飽きずにぺろりと食べられます。甘酸っぱい莓と、クリーミーなパンナコッタの相性も抜群。コーヒーや紅茶など、温かい飲み物と合わせてどうぞ。

(写真左上)

アールグレイホットティー / 400円

2杯目からは1杯100円

ヌックとは？

「ヌック」は小ぢんまりとした居心地の良い空間のこと。閉塞感があるわけではなく、リビングなど開放的な空間に面していることが特徴。書斎やキッズスペースなどさまざまな目的で使うことができるので、家での過ごし方の楽しみが広がり、スペースも有効的に活用できることも。



本社2階社食ランチが食べられるカフェ

CAFE FLAG

@bistrocafe_flag



吾川郡いの町にあるカフェ・ドッグラン

COCAGE Villa FUKUYA

@cocagevillafukuya



Next Issue

5月29日 発行

vol.12

20代で家を建てる

【発行元】

フクヤ建設株式会社

〒781-0015

高知市薊野西町3-35-29

☎ 088-845-4618

✉ fukuya@fukuya-h.co.jp

📸 @fukuya.kochi